

ふるさと五泉 水の里

報告 五泉南小学校 川上 弘宜

五泉市はその名の通り、豊かで清らかな水に恵まれた泉の里です。この水を生かして昔から農業や繊維産業などが発展してきました。市内の各小学校では、総合学習のテーマとして「水」を取り上げて学習しています。

そこで今年度の五泉市小教研総合学習部では、各校の「水」をテーマにした総合学習をより充実するために、次のような活動をしてきました。

1 各校の「水」をテーマにした総合学習の実情の情報交換

「水」をテーマにした総合学習を、各校がどのように指導計画に位置づけ、実践しているかを情報交換しました。その中から、市外からの通勤も多く、子どもに教えていながらも、教師自身が五泉の「水」についての情報をあまりもっていないという課題も見付かりました。

2 五泉の水の实地見学

五泉の「水」について教師自身の理解を深めようと、総合部員全員で「吉清水」や「どばしっこ清水」などへ实地見学に出かけました。講師として「NPO 法人五泉トゲソを守る会」の方をお迎えし、現地を見ながらその現状や問題点などを学びました。五泉の水のすばらしさとそれを守るためには住民の理解や協力が必要であることを、改めて感じることができました。



3 「水」をテーマにした総合学習の公開授業実践

これまで学習したことも生かして、9月には五泉小学校4年生において公開授業研修を行いました。全員の総合部員が当事者意識をもって参観できるように、授業者からは授業のアウトラインのみを提案いただき、部員全員で指導案を立案することとしました。それ



により、本時の主要課題を、

五泉の水は、きれいだと言えるか？

とすることになりました。その他にも、「実物の川の水をくんで見せるとよい」「次時にゲストティーチャーとしてトゲソの会の方を招くとよい」などの意見も出されました。

授業当日は、活発な意見交換が行われました。中でも、「浄水場の方が五泉の水は少し消毒するだけで飲める水になると言っていたからきれい」「五泉では昔から井戸水やわき水を使っているひとがたくさんいるからきれい」など、これまで子どもたちが調べたことを基にした意見がたくさん出されたことは、これまでの学習が深く、有意義なものであったことの証であると考えています。

協議会でも「自校の実践に生かせる実践であった」という評価が数多く出されました。それは今後、各校の実践がより充実したものになることを予感させるものでした。

五泉の「水」は市民の「宝」です。命の「源」です。それを大切にし、後世に伝えていくことは、子どもにふるさとへの愛着と誇りを生むことにつながると考えます。

これからも総合部では「水」をテーマとした学習を充実させ、子どもに「ふるさと五泉」を愛する心を育てていきたいと考えています。